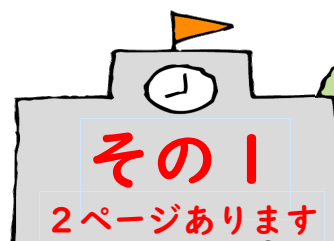


泊小学校のスタ場!!!!

「スタ場」とは、「スタートの場」「スタディの場」「スターの場」を表しています。

2025, 6, 4(水)
第14号
那覇市立
泊小学校
校内新聞



泊小学校の歴史

本日のお話朝会では、泊小学校の歴史についてお話ししました。

何回かに分けて、スタ場でも紹介します。

泊小学校は、今から144年前の1881年6月1日に誕生しました。

石碑には、「泊村学校所跡」と書かれており、そのうら側には学校の歴史がきざまれています。

その後、学校の名前はいろいろと変わり、67年前の1958年に今の「泊小学校」になりました。

もっと前には、1835年(今から190年前)には、泊に「村学校」ができました。そのころは、155人の男の子(7歳から15歳ぐらいまで)が1人の先生から勉強を教えてもらっていました。村学校のあとに、「教倫小学校」ができました。

6月1日
泊小学校のお誕生日

そうりつ きねんび
創立記念日



今から144年前の1881(明治14)年6月1日に、
わたし達の泊小学校が、たんじょうしました。

【泊小学校の生い立ち】

1881年6月1日

教倫小学校(母校創立)

1888年1月…泊尋常〈じんじょう〉小学校

1888年12月…那覇尋常高等小学校泊分校

〈なはじんじょうこうとうしょうがっこうとまりぶんこう〉

1899年…泊尋常小学校

1941年…泊国民学校

1958年…泊小学校



ウラ側

この写真は、戦争が始まる前の100年前の泊小の様子です。この頃の校舎は、赤がわら屋根の校舎でした。

今の校歌ができたのも、ちょうどその頃だったようです。

大正時代から昭和の初めごろの泊小学校
女の子も通い始め、子供たちの服装は、着物に
帯をしめ、ほとんどがはだだったそうです。

遊びは、おにごっこやパッチ（めんこ）、お
はじき、ゴムだんとびなどでした。

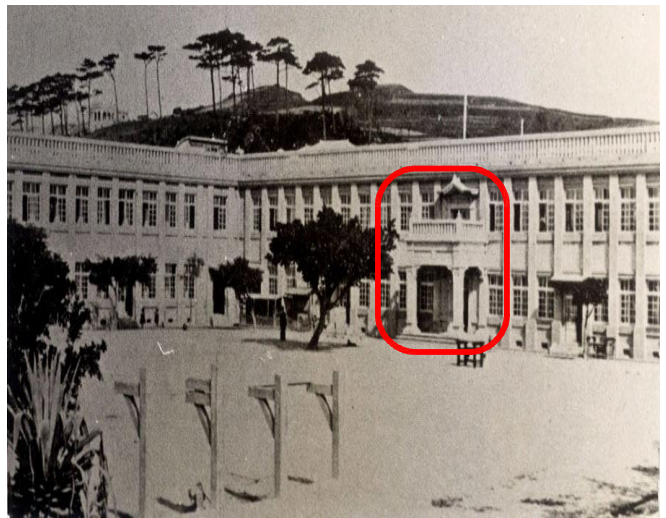
この校舎は、1927年に火事で焼けてしま
いました。



戦争が始まる前の1930（昭和5年）
年に新しい校舎ができました。

新しい校舎は、鉄筋コンクリート2
階建てで、那覇市内でも数少ない鉄筋
を使った校舎でした。

赤色で囲っている部分が、運動場に
今も残っている校舎の玄関部分の一部
「時計台」です。この頃の泊小の児童
は、1230人もいたようです。校舎の後
ろには、黄金森が見えます。今と少し
様子がちがいますね。



この校舎は、はげし
い戦争にも焼け残っ
て、1979年（昭和54
年）まで使われました。

教科書は写真のよう
に、白黒のものでした。

1941年（昭和16年）
に戦争が始まると、一
日のうち、1時間か2

時間勉強して、あとはひなん
用のぼうくうごうをほったり
していたそうです。また、一
日2、3度は空しゅう警報が鳴
り、ぼうくうごうに入る避難
くんれんもあったそうです。

続きはまたね

